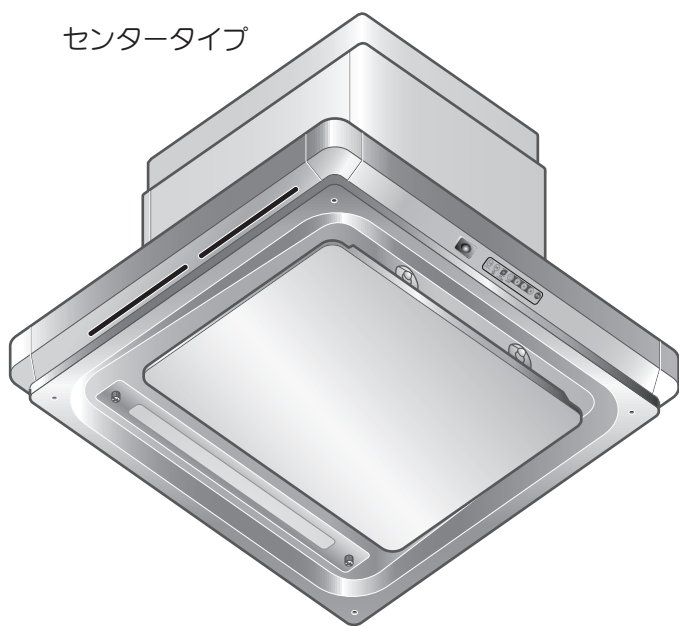


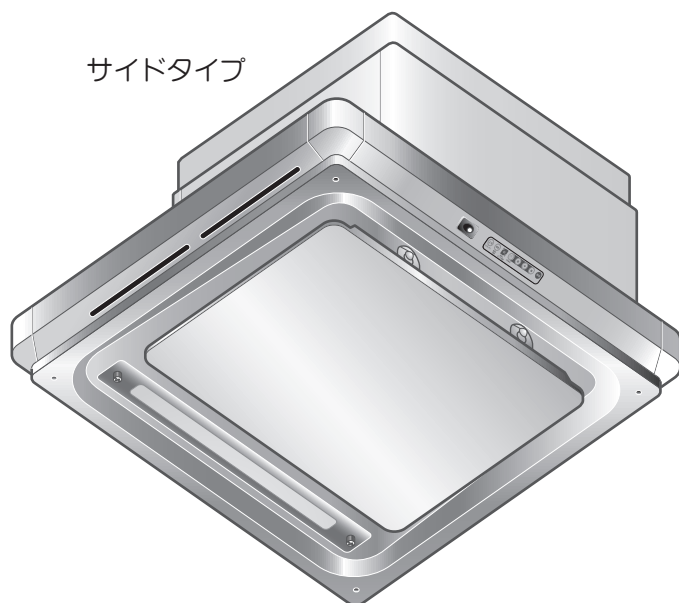
レンジフードファン

取扱説明書

センタータイプ



サイドタイプ



もくじ

安全上のご注意	2・3
使用上のお願い	4
使いかた	5～9
製品の特徴	5
各部のなまえ	6・7
スイッチ	8・9
お手入れのしかた	10～20
取りはずしのしかた	11
組み立てのしかた	12
お手入れのしかた	13・14
エアカーテン部のお手入れ	15
蛍光灯交換のしかた	16・17
ファンのお手入れのしかた	18～20
故障かなと思ったら	21
仕様	22
アフターサービス	23
修理を依頼されるときは	23

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1302 6081-B



安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



○ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告



電源を切る

- お手入れやランプ交換の際は、必ず切スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで約3秒間押してスイッチを「ロック」するが、分電盤のレンジフードファン用ブレーカを切ること
完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押して「ロック」を解除すること
または分電盤のブレーカを「入」にすること



ぬれ手禁止

- ぬれた手でスイッチを入/切しないこと
感電ややけどをすることがあります



ほこりをとる

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因となります



分解・修理
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
火災・感電・けがの原因となります



操作禁止

- ガス漏れのときは、スイッチを入/切しないこと
爆発・引火のおそれがあります



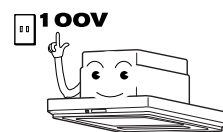
水かけ禁止

- 電気部品(モータ・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



使用禁止

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります



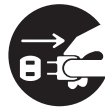
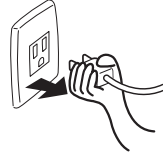
安全上のご注意

⚠ 注意



プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります



プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

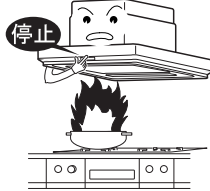


分電盤



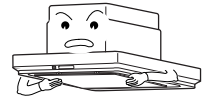
運転停止

- 調理中、油に火がついたときは、運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です



取付注意

- お手入れの際には必ず整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



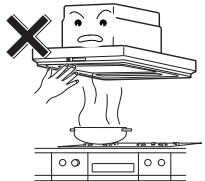
接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



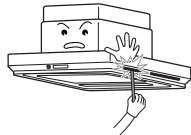
接触禁止

- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります



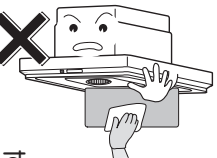
接触禁止

- エア吹き出し口に手や棒状のものなどを入れないこと
思わぬけがや、ファンの破損のおそれがあります



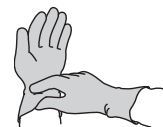
落下注意

- 整流板を本体から取りはずさず、右図のような状態でお手入れをしないこと
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



落下注意

- 部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



使用禁止

- 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと
本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります



高温注意

- ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと
やけどのおそれがあります



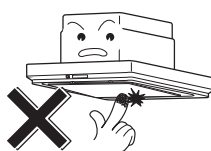
使用禁止

- 指定以外のランプを使わないこと
ランプカバー周辺が高温となり、やけどのおそれがあります



接触禁止

- ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと
高温になるため、やけどをすることがあります



禁止

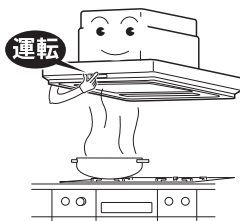
- レンジフードファンの上に物を置かないこと
落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります



使用上のお願い

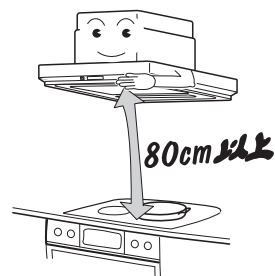
- 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- 調理器具の真上、80cm以上に取り付けられているか確認してください

火災予防のため、製品の下端が調理器具の真上、80cm以上必要です



- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります。レンジフードファン近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

- エアコンの風が直接あたらないようにしてください。風を受けると、吸い込みが悪くなります。オープンな場所では特にレンジフードファンから漏れやすくなります

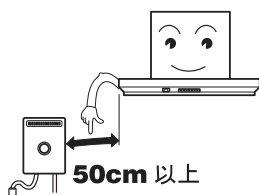
- 調理器具の空焚きは絶対にしないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- グリル付の調理器具と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはランプカバー表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください

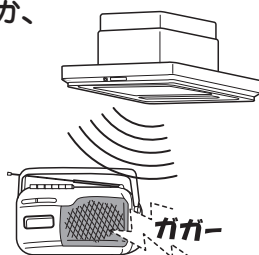
- キッチンの気温が低いときに使用された場合には、レンジフードファンの表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください

- 湯沸器はレンジフードファンから50cm以上離してください。レンジフードファンの下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります

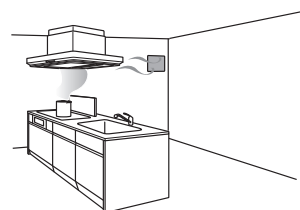


- IHクッキングヒーター（電気こんろ）を使用時、レンジフードファンがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください。特に冬期など気温の低い状況では結露がしやすくなりますのでご注意ください

- レンジフードファンの照明を点灯しているとき、近くでテレビやラジオを使用されますと、雑音が入る場合があります。その際はテレビやラジオを遠ざけるか、またはテレビやラジオの向きを変えてください



- レンジフードファンの運転中は給気をおこなってください。レンジフードファン反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気を取り入れが不十分ですと換気性能が低下します



使いかた

製品の特徴

● フィルターレスなので、お手入れの手間が省けます

お手入れが大変だったフィルターがないため、お手入れが楽にできます。調理中に発生した油や水蒸気は、ファンの遠心力で分離されて、独自のオイルキャッチ構造によりオイルパックに回収します。

※ 料理・油の量によって油や水の集まり方に差があります。

● オイルパネルも簡単にお手入れできます

フード内面はつなぎ目や凹凸が少なく、お手入れが簡単です。またフード内面と整流板には特殊コーティングを施していますので、調理中についた油汚れも落としやすくなっています。

※ アルカリ性洗剤や酸性洗剤を使用すると、塗装面が劣化することがあります。

● 整流板により、煙を効率よく吸い込みます

調理の際に発生した油煙を整流板により誘導して効率良く吸い込みます。

※ 整流板を取り付けないと、吸い込み性能が著しく低下しますので、必ず整流板を取り付けた状態でご使用ください。

※ 煙の捕集はエアコンなどによる風の流れ、人の動きなどに大きく影響されます。また給気口の大きさ、ダクトなど、設置状況により煙の捕集効率が低下します。

※ 蒸気が多量に発生する調理をすると結露する場合があります。

● お部屋をクリーンに保つエアカーテンを採用

フード側面（サイドタイプは2方向、センタータイプは3方向）から風を発生させることでフード周囲に空気壁（エアカーテン）を形成。室内に発生する風の影響を受けにくくし、吸込み性能を向上させます。

※ 室内に発生する風の強さによっては吸込み性能に影響する場合があります。（例：エアコン・扇風機の直撃風・窓からの強い風）

※ 軽いビニール袋等はエアカーテンの影響を受け、なびく（動く）場合があります。

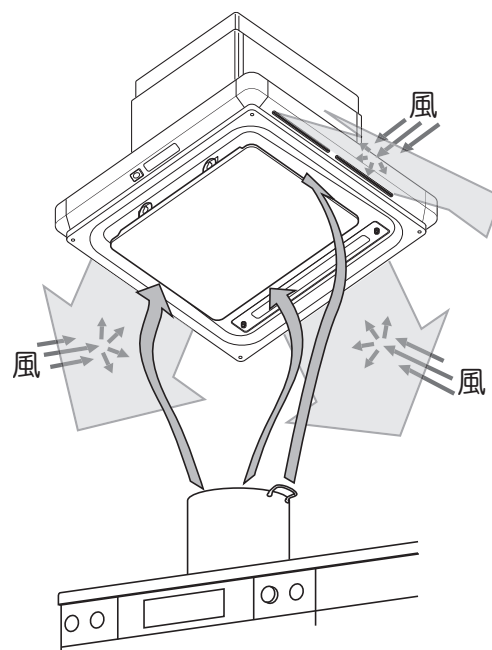
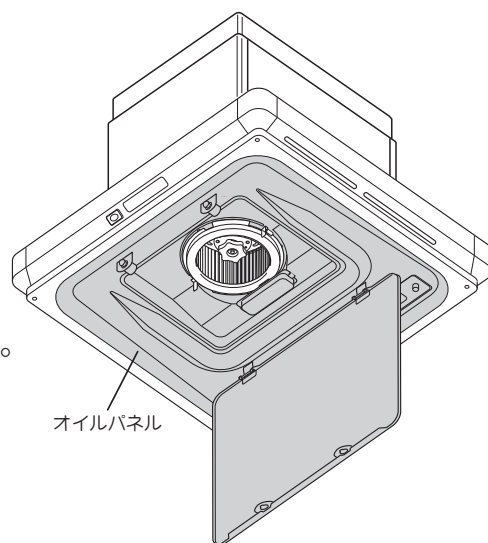
※ 右図はセンタータイプの場合を示します。

● 常時換気機能を装備しています

常時換気機能を使うと、調理が終わった後の台所空間の全体換気ができます。

● 調理台の上を明るく照らします

照明用24形蛍光ランプをフード奥側に配置。調理器具の周りを明るく照らします。

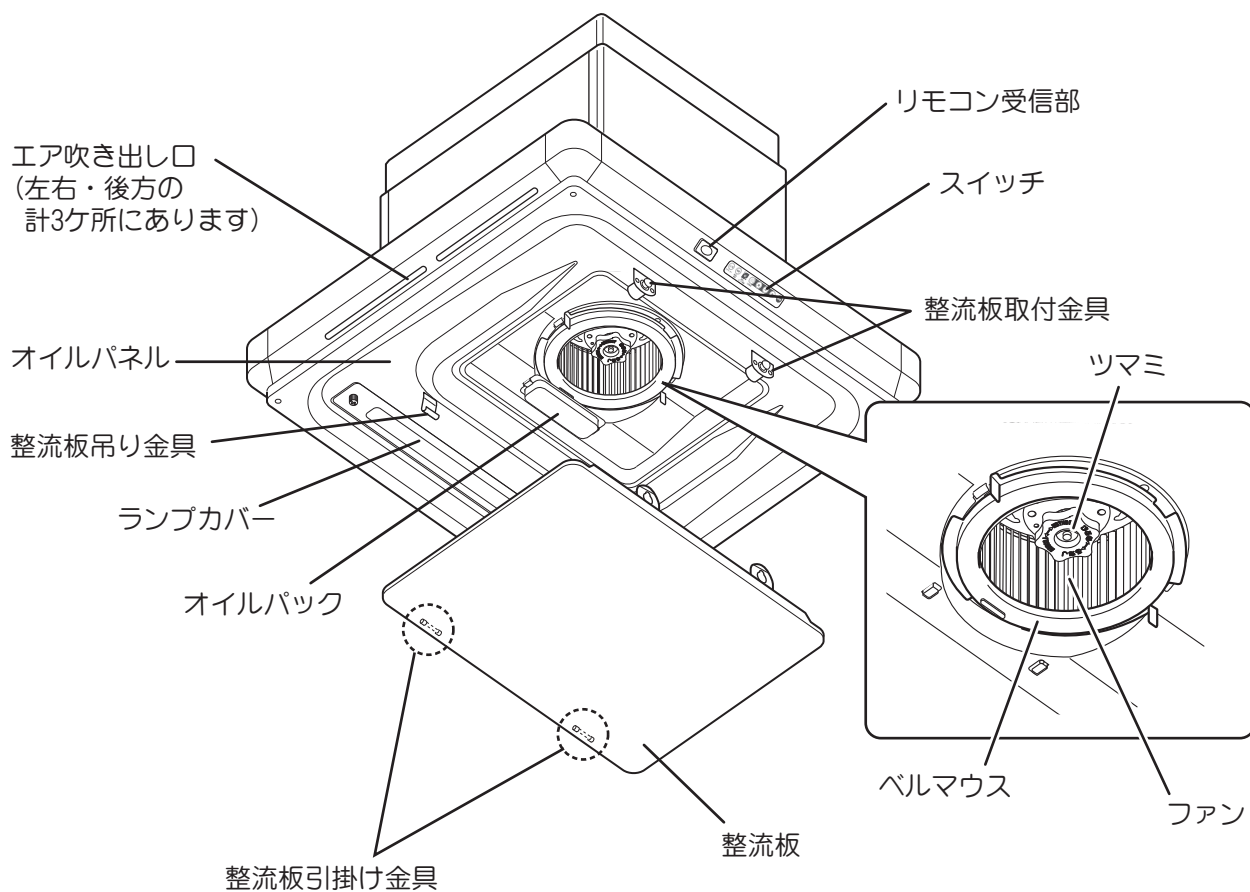


使いかた

各部のなまえ

機種により本体のデザインが異なります。

■ センタータイプ(天井取付タイプ)

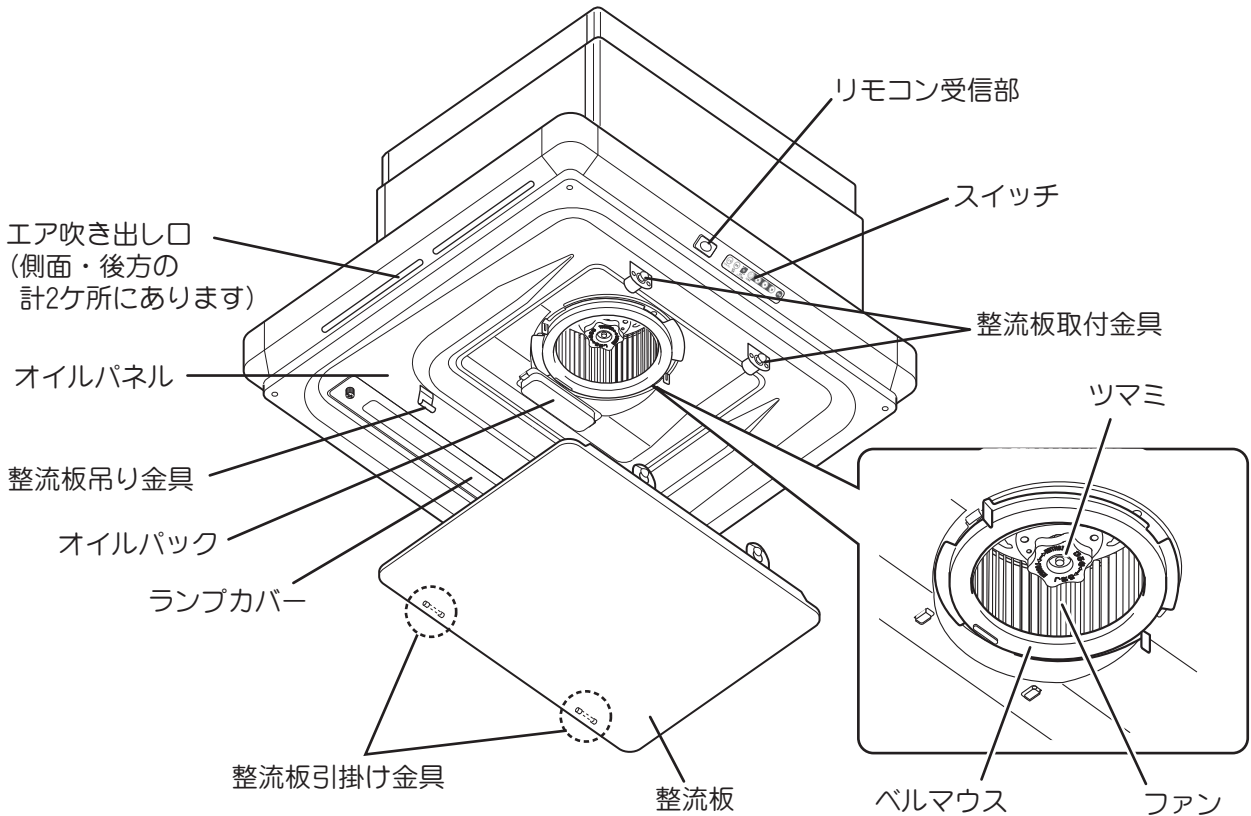


使いかた

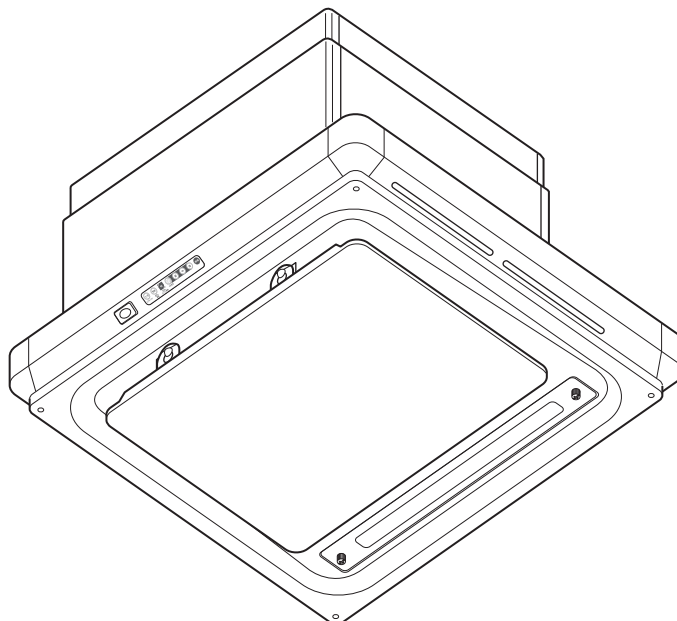
■ サイドタイプ(壁面取付タイプ)

Rタイプ(右壁面取付タイプ)と
Lタイプ(左壁面取付タイプ)があります。

Rタイプ(右壁面取付タイプ)の場合



Lタイプ(左壁面取付タイプ)の場合



使いかた

スイッチ



入/切 エアカーテン入/切スイッチ **レンジフードファン運転中のみ作動します。**

エアカーテン

レンジフード運転中（弱・中・強）に押し、フードの側面・後方のエア吹き出し口からエアが吹き出し、エアカーテン機能（⇒5ページ）がはたらきます。

※ スイッチを押すたびに入/切を繰り返します。

※ レンジフードファン運転中のみ作動します。停止中や常時換気運転中は、スイッチを押しても作動しません。

※「入」の状態（運転を停止した場合） ⇒ 次回運転時は「入」状態になります。

※「切」の状態 ⇒ 次回運転時は「切」状態になります。

常時 常時換気スイッチ **常時換気運転について**

長押し解除

「弱」運転より弱い風量で運転し、連続換気を行います。建築基準法による住宅の常時換気を行う設備として使用できます。

※ 調理の際は常時換気運転ではなく、**弱** **中** **強** スイッチを押して通常運転を行ってください。

※ 通常運転（弱・中・強）中は、常時換気運転の設定/解除はできません。換気連動タイプ専用の調理機器との連動運転の場合も同様です。

常時換気運転をする **常時換気運転中に通常運転にかえるには**

常時 スイッチを押してください。 **弱** **中** **強** いずれかのスイッチを押してください。

長押し解除

スイッチのまわりが点灯し、ファンが回転します。

常時換気運転を停止する **通常運転中に常時換気運転に戻すには**

常時 スイッチを約3秒間押してください。 **切** または **3分後切** スイッチを押してください。

長押し解除

「ピッ」と音が鳴り、ファンが停止します。

レンジフードファン連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合

- 連動調理器具を着火すると、自動的にレンジフードファンは「強」運転をおこないます。この状態からレンジフードファンのスイッチ（切、風量切替、照明）操作がおこなえます。
- 調理器具を消火すると、レンジフードファンはそのままの風量で約3分間運転を続け、自動的に運転を停止します。照明や常時換気はもとのままの状態です。
- レンジフードファンの風量調節および照明の入/切などの操作を調理器具前面の操作パネルでもおこなえます。（詳細については調理器具の取扱説明書をご覧ください。）

専用調理器具については弊社までお問い合わせください。



3分後切 スイッチ

3分後切

スイッチを押すと、調理の後の煙やおいを排出するためそのままの風量で約3分間運転し続けた後、自動的にレンジフードファンおよびエアカーテンを停止します。

※ 常時換気運転が設定されている場合は、タイマー運転後に常時換気運転に切り替わります。

※ 照明は消えません。照明を消すには (照明) スwitchを押します。

※ タイマー運転を停止したいときは、(切) または (3分後切) スwitchを押してください。



切り忘れ防止タイマー

このレンジフードファンは、最後に操作したときから約5時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。再び運転するときは、(弱) (中) (強) いずれかのスイッチを押してください。なお常時換気モードが設定されている場合は、約5時間後に照明が消え、常時換気運転に切り替わります。



運転・風量切替スイッチ

いずれかのスイッチを押すとその風量で運転を開始します。

押したスイッチのまわりが点灯します。各スイッチを押すたびに風量が変わります。

風量設定の
のぞやく



弱 静かに運転させたいとき。



中 煙が少ないとき。



強 通常の運転のとき。

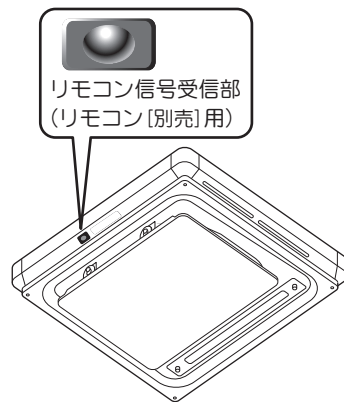


照明入/切スイッチ

スイッチを押すと照明が点灯します。

スイッチを押すたびに点灯/消灯を繰り返します。

※ 別売リモコンスイッチ (品番:RMC-01) もご使用になれます。
(リモコンスイッチではスイッチのロック/ロック解除はできません)



リモコン信号受信部
(リモコン [別売] 用)



切スイッチ

長押し
ロック/解除

スイッチを押すと直ちに運転を停止します。

また、スイッチの長押しでスイッチロックの設定を行います。

※ 照明は消えません。照明を消すには (照明) スwitchを押します。

スイッチの「ロック」(操作機能全てが「切」状態になります)
この操作は本体のお手入れやランプ交換の際には必ず行ってください。

スイッチロック(解除)の方法



3秒以上押す

● スwitchを「ロック」するには



スイッチを約3秒間押し続ける「ピピッ」と音が鳴り、スswitchがロックされます。ファンが停止し、照明が消灯します。



長押し
解除

3分後切

と が交互に点滅します。

ロック状態で (切) 以外のスswitchを押すと…



「ピピピッ」と警告音が鳴り、(弱) (中) (強) が点滅します。ファン・照明は作動しません。
(別売リモコンスswitchの操作もできません。)

● 「ロック」を解除するには

もう一度「ピー」と音がするまで

(切) スswitchを約3秒間押し続ける

長押し
ロック/解除

ロック解除後は必要に応じて照明、運転・風量切替スswitchを再操作してください。

※ ロック操作は調理を終え、レンジフードファンが十分冷めた状態で行ってください。
※ 停電した場合やブレーカを切った場合は、ロックは解除されます。

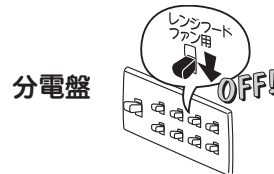
お手入れのしかた

警告



電源を切る

- お手入れや蛍光灯交換の際は、必ず切スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで約3秒間押し続けてスイッチを「ロック」するか、分電盤のレンジフードファン用ブレーカを下げる（切る）こと。完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し続けて「ロック」を解除すること。または分電盤のブレーカを「入」にすること。
- ぬれた手でスイッチを入/切しないこと。感電ややけどをすることがあります。
- 調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと。



水かけ禁止

- 電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと。ショート・感電のおそれがあります。

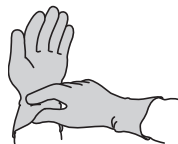


注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること。鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります。



取付注意

- お手入れの際には必ずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと。落下によりけがをするおそれがあります。



お手入れの際のお願い

- **おそうじはこまめにする**
 - ・油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
- **中性洗剤を使う**
 - ・おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズがついたり、はがれたりするおそれがあります。汚れがひどく、アルカリ性合成洗剤が使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

レンジフードファンの油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ合成洗剤「サットレールスプレー」「サットレールシート」があります。お問い合わせは裏表紙をご覧ください。



- **熱湯は変形のもと**
 - ・60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。
- **ファンを変形させない**
 - ・ぶついたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。
- **ファンをはずした状態では運転しない**
 - ・ファンをはずした状態で運転しないでください。モータが過熱して故障の原因になります。

お手入れのしかた

取りはずしのしかた

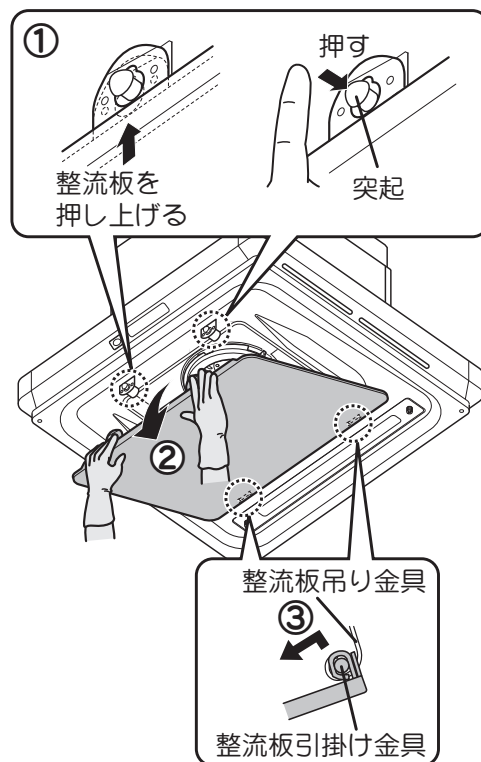
1 整流板をはずします。

- (1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の上部前面にある突起部を押してはずします。
- (2) 整流板を両手で支えながら、下へゆっくり10cm程度おろします。
- (3) 整流板の奥を少し持ち上げ、整流板引掛け金具を整流板吊り金具からはずします。

※ 必ず左右同時にはずしてください。
整流板吊り金具の変形の原因になります。

お願い

- 取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板引掛け金具や整流板吊り金具を変形させないようにご注意ください。

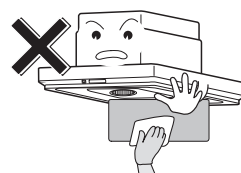


⚠ 注意



落下注意

- 部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
- 整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

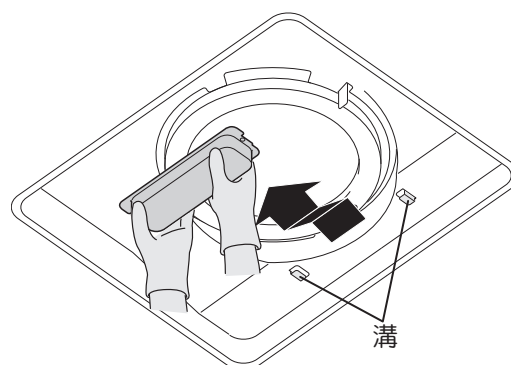


2 オイルパックをはずします。

オイルパックの油をこぼさないように水平に保ちながら手前に引いて本体の溝からはずします。

お願い

- ご使用の状況により、油がたまらないことがあります。異常ではありません。



お手入れのしかた

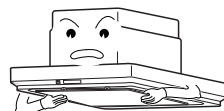
組み立てのしかた

警告

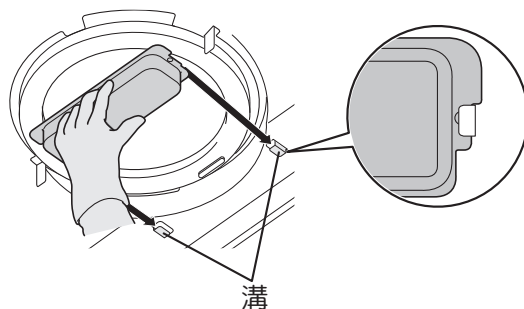


取付注意

- お手入れの際には必ず整流板の取り付けは
確実に起こなうこと
落下によりけがをする
おそれがあります



- 1 オイルパックを取り付けます。
オイルパックを本体の溝にはめ込み、奥側まで
スライドさせて取り付けます。



- 2 整流板を取り付けます。
(1) 奥側左右の整流板引掛け金具を、
整流板吊り金具に確実に引っ掛けます。

- (2) 整流板を両手で支えながら手前側を上
に持ち上げ、上部前面の突起部を押し
ながらロックします。
取り付け後は整流板を上下に動かし、
はずれないことを確認してください。



お手入れのしかた

お手入れのしかた

取りはずしのしかた、組み立てのしかたは、11・12ページをご参照ください。

警告



水かけ禁止

- 電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります

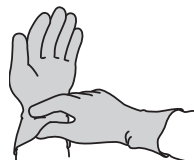


注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



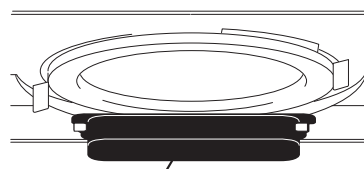
こまめにお掃除してください。

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。

早めにお掃除いただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

オイルパックにたまる油や水の量はお料理や調理方法により異なりますが、定期的の確認をし、少なくとも1ヶ月に1度はお掃除をしてください。

ご使用の状況により油がたまらないことがありますが、異常ではありません。



オイルパック

お手入れのしかた

■ オイルパック

(汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：1ヶ月に1回程度)

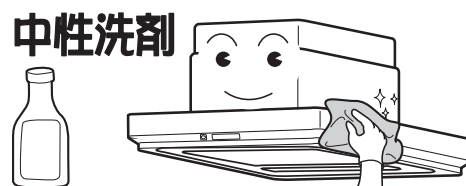
中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、表面のやわらかい布やスポンジなどで洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■ 本体・整流板・オイルパネル


(汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：1ヶ月に1回程度)

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水で湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。特に下端部は汚れが付きやすいのでこまめにふきとってください。



お願い

- はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。(変形・キズの原因となります。)

※完了後は再び  スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し「ロック」を解除してください。またブレーカを「切」にした場合は、ブレーカを上げて「入」にしてください。

お手入れのしかた

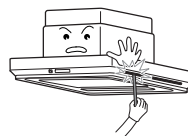
エアカーテン部のお手入れ

⚠ 注意



接触禁止

- エア吹き出し口に手や棒状のものなどを入れないこと
思わぬけがや、ファンの破損のおそれがあります



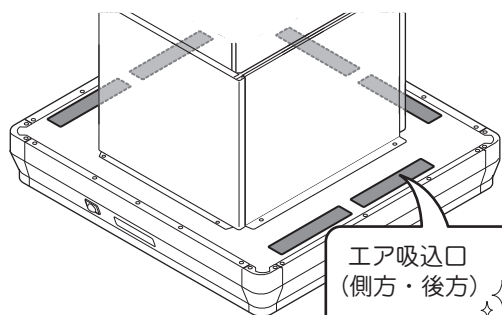
■ エア吸込口・エア吹き出し口のお掃除

(汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：1ヶ月に1回程度)

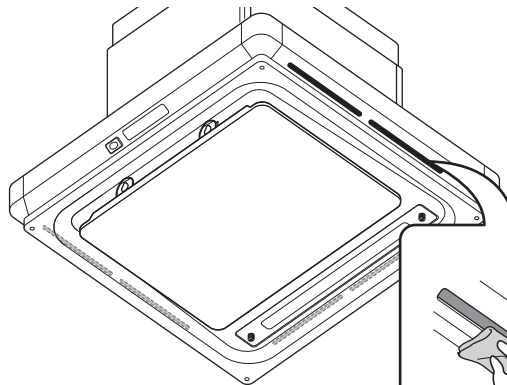
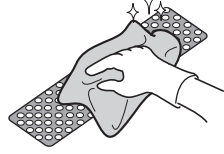
※ 図はセンタータイプの場合を示します。

サイドタイプの場合、壁面側にはエア吸込口、エア吹出口はありません。

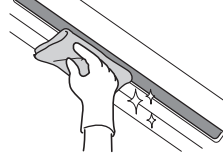
中性洗剤溶液に浸した布をしぼり、汚れをふきとってください。その後、洗剤が残らないよう、清水で湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。



エア吸込口
(側方・後方)

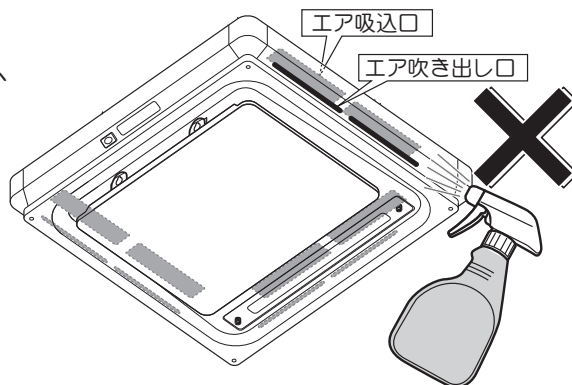



エア吹き出し口
(側方・後方)



お願い

- エア吸込口・エア吹き出し口に洗剤、水をかけないでください。
(モータの故障の原因になります。)



※ 完了後は再び  スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し「ロック」を解除してください。
またブレーカを「切」にした場合は、ブレーカを上げて「入」にしてください。

お手入れのしかた

蛍光灯交換のしかた

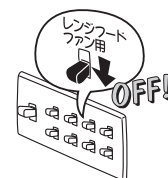
ご使用の蛍光灯が切れたときは、市販の蛍光灯 型名：FHF24SEN 定格 24 W 口金 G 5 (高周波点灯専用蛍光灯 24形) を購入し、交換してください。

警告



電源を切る

- お手入れや蛍光灯交換の際は、必ず切スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで約3秒間押し、スイッチを「ロック」するか、分電盤のレンジフードファン用ブレーカを下げる（切る）こと
完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し「ロック」を解除すること
または分電盤のブレーカを「入」にすること
- めれた手でスイッチを入/切しないこと
感電ややけどをすることがあります
- 調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと



分電盤

注意



使用禁止

- 指定以外のランプを使わないこと
ランプカバー周辺が高温となり、故障や、やけどのおそれがあります



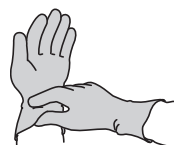
高温注意

- ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと
やけどのおそれがあります



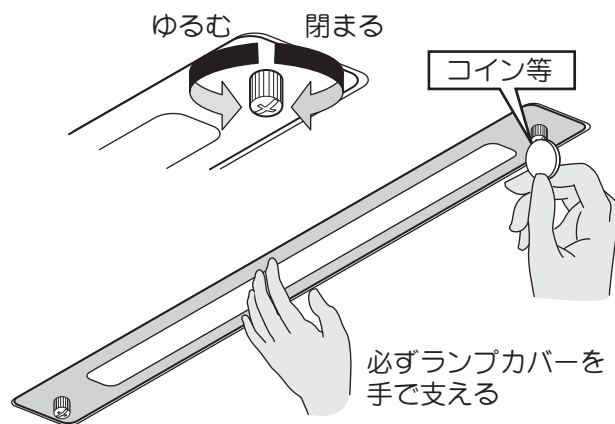
手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

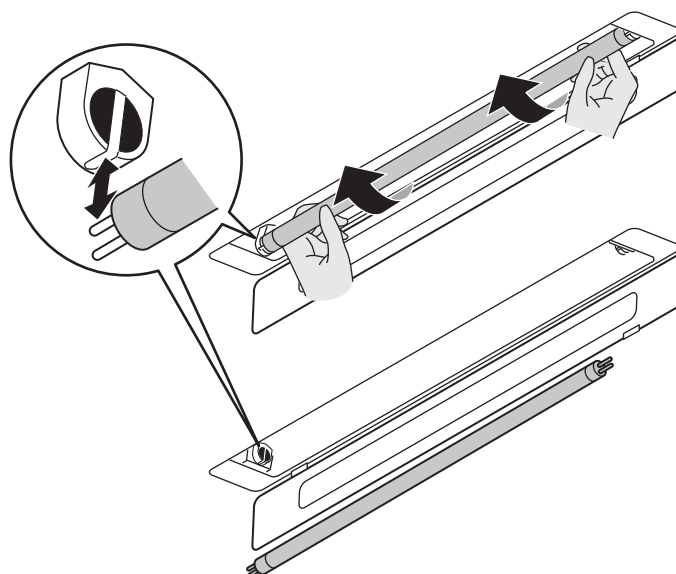


お手入れのしかた

- 1** ランプカバーを開きます。
ランプカバーを必ず手で支えながら両端のねじをコインなどでゆるめ、カバーをゆっくりと開きます。




- 2** 蛍光ランプをはずします。
蛍光ランプを図のように指でつまみ、90度回転させて下側にはずします。



- 3** ソケットに新しい蛍光ランプを取り付けます。
図のように蛍光ランプの両端をソケットに入れ、90度回します。

- 4** ランプカバーを取り付けます。
ランプカバーを両端のねじでしっかりと取り付けます。

※ 完了後は再び  スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し続けて「ロック」を解除してください。
またブレーカを「切」にした場合は、ブレーカを上げて「入」にしてください。

お手入れのしかた

ファンのお手入れのしかた

⚠ 注意



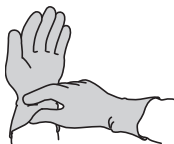
電源を切る

- お手入れの際は、必ず切スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで約3秒間押し続けてスイッチを「ロック」するが、分電盤のレンジフードファン用ブレーカを下げる（切る）こと
完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し続けて「ロック」を解除すること
または分電盤のブレーカを「入」にすること
- めれた手でスイッチを入/切しないこと
感電ややけどをすることがあります
- 調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



落下注意

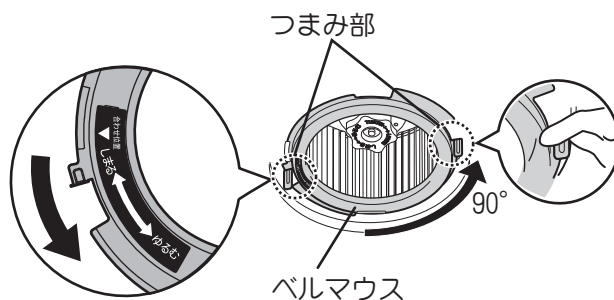
- 部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順で行ってください。

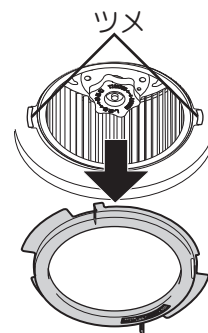
■ファンのはずしかた

- 1 取りはずしのしかた（11ページ）を参照して整流板およびオイルパックをはずします。

- 2 ベルマウスをはずします。
(1) ベルマウスのつまみ部（2ヶ所）を持ち「ゆるむ」の方向に約90度まわします。



- (2) 2ヶ所のツメからベルマウスをはずします。

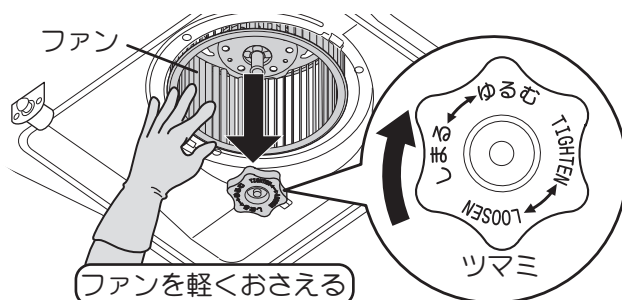


お手入れのしかた

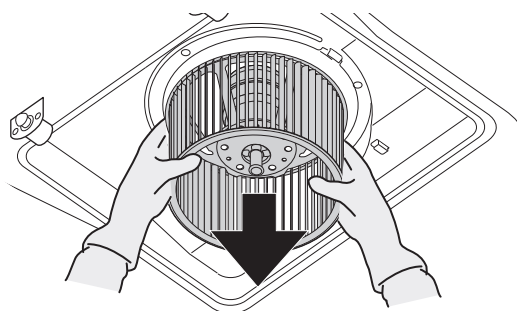
3 ファンをはずします。

(1) ファンが回らないように軽く押さえ、ツマミを「ゆるむ」の方向に回します。

※ ファンは軽く押さえてください。強く押さえると変形することがあります。

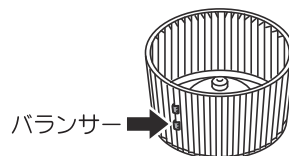


(2) ファンを取り出します。



お願い

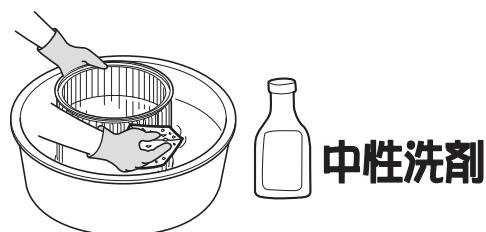
- ファンを強く押さえたり、ぶついたり、落としたりして変形させないでください。(異常な音や振動の原因となります。)
- ファンの回転バランスをとるために、балансиー (重り) がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。(バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。)



■ ファンの洗いかた

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。

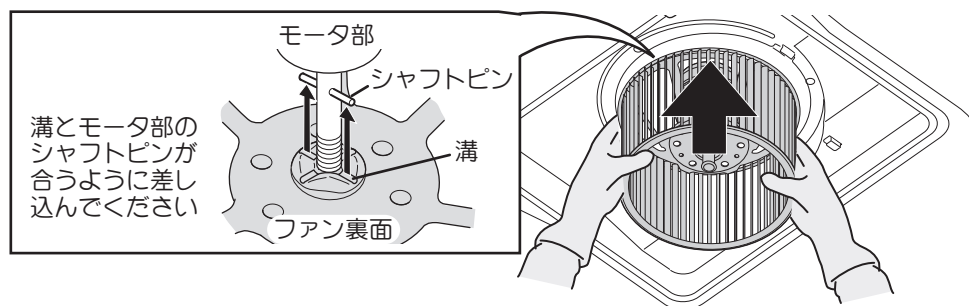
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



お手入れのしかた

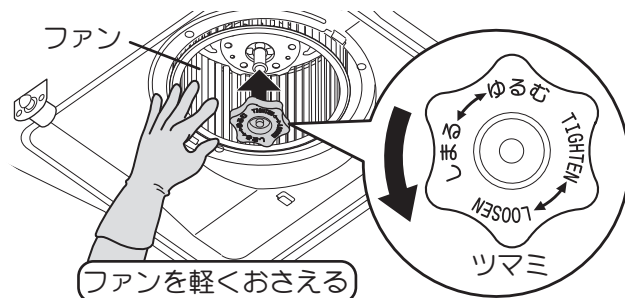
■ファンの取り付けかた

- 1 ファンを取り付けます。
(1) ファンを根元まで差し込んでください。

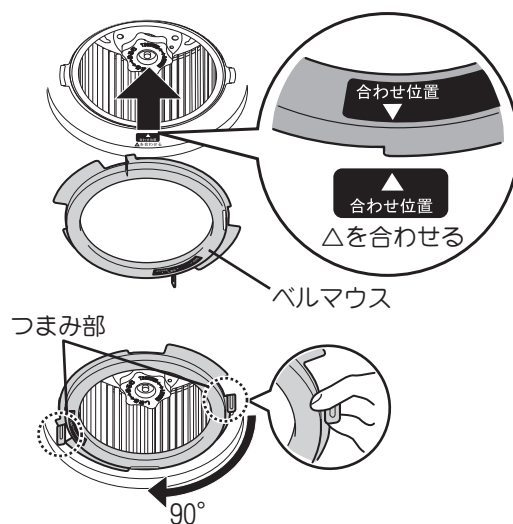


- (2) ファンが回らないように軽く押さえ、ツマミを「しめる」の方向に回して締め付けてください。

※ ファンは軽く押さえてください。
強く押さえると変形することがあります。



- 2 ベルマウスを取り付けます。
ベルマウスの「△印」と本体の「△印」を合わせて本体にあてます。その位置から止まるまで（約90度）まわします。
ベルマウスを取り付けてから、ファンを手で回してこすれ音などが無いことを確認してください。



お願い

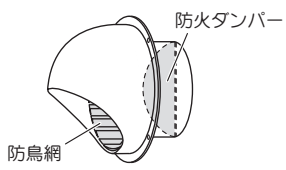
- ファン・ベルマウスは確実に取り付けてください。
(異音や故障の原因となります。)

- 3 組み立てのしかた（12ページ）を参照して
整流板・オイルパックを取り付けます。

※ 完了後は再び スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し「ロック」を解除してください。
またブレーカを「切」にした場合は、ブレーカを上げて「入」にしてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

症状	考えられる原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れてもファン・ランプの電源が入らない。 ● ファンがまわらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤のブレーカが「切」になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤のブレーカを「入」にする。
<ul style="list-style-type: none"> ● ランプがつかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプの交換をする。 ● ランプを取り付け直す。(17ページ参照)
<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンスイッチを操作しても動作しない。(別売リモコンを使用している場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が減っている。 ● 電池の向きが間違っている。 ● リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ● ロック状態になっている。(ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池を交換する。 ● 電池を正しく入れる。 ● 発信部・受信部をそうじする。 ● ロックを解除する。(9ページ参照)
<ul style="list-style-type: none"> ● 「常時」と「3分後切」が交互に点滅を続けている。 ● スイッチを操作すると「ピピピッ」と警告音が鳴り「弱」・「中」・「強」が点滅する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ロック状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ロックを解除する。(9ページ参照)
<ul style="list-style-type: none"> ● 「常時」と「3分後切」は点滅していない。 ● 「弱」・「中」・「強」ボタンが点滅を続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● モーターまたは制御基盤が故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 修理を依頼する。
<ul style="list-style-type: none"> ● 吸い込みが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外からの給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
<ul style="list-style-type: none"> ● オイルパックに油がたまらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 油料理の頻度や気候により油のたまり具合が異なるため。 ● 本体や整流板などに油がついている。(送風機以外についた油はオイルパックにはたまりません。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● オイルパックに油がたまってから捨てる。(13ページ参照) ● 本体や整流板についた油はその都度ふきとる。
<ul style="list-style-type: none"> ● 運転が止まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 常時換気モードが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 常時換気モードを使用しない場合は設定を解除する。(8ページ参照)

仕様

センターフード（天井取付タイプ）モデル

定格電圧 (V)	ノッチ	エアカーテン	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
					0Pa	100Pa	
100	強	動作時	50	49	460	460	40
			60				
		非動作時	50	25			
			60				
	中	動作時	50	35	300	-	38
			60				
		非動作時	50	11			
			60				
	弱	動作時	50	30	150	-	37
			60				
		非動作時	50	6			
			60				
常時換気	-	50	5	100	-	21	
		60					

(150Pa時：エアカーテン動作時の最大電力 94W)

(150Pa時：エアカーテン非動作時の最大電力 70W)

サイドフード（壁面取付タイプ）モデル

定格電圧 (V)	ノッチ	エアカーテン	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
					0Pa	100Pa	
100	強	動作時	50	41	460	460	40
			60				
		非動作時	50	25			
			60				
	中	動作時	50	27	300	-	36
			60				
		非動作時	50	11			
			60				
	弱	動作時	50	22	150	-	34
			60				
		非動作時	50	6			
			60				
常時換気	-	50	5	100	-	18	
		60					

(150Pa時：エアカーテン動作時の最大電力 86W)

(150Pa時：エアカーテン非動作時の最大電力 70W)

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C9603 による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

レンジフードファンに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後6年間保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

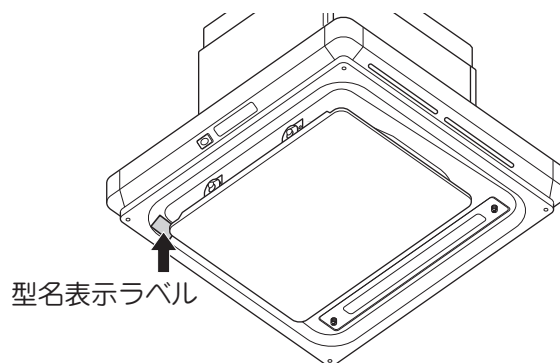
修理を依頼されるときは

21ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	レンジフードファン
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくことでサービスを依頼されるときに便利です。

レンジフードファンの型名は、本体内側の左前方に表示してあります。



修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz 又は/及び60Hz	
	温度	20°C	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)}	
		台所 2 410時間/年	

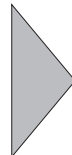
注^{a)} 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。



ご使用中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

★長年ご使用の換気扇の点検を

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社 (以下「当社」) は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報 (以下「個人情報」) を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。

なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

購入店名

電話 ()

お客様メモ

(システムキッチンメーカー名:)

ご購入年月日

平成 年 月 日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』のお取り扱い窓口は


フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ ☎0120-227-266

FAX 042-768-3383

ホームページ <http://www.airpro-pj.jp/>

受付時間 9:00~17:45 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)

〔製造元〕  富士工業株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9

お客様ご相談窓口 ☎0120-071-686

受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)